

故郷 1  
新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

								塗	塀	畜	溺	艶	雇	紺	閑
								ぬ ー る	へ い	ち く	お ぼ ー え る	つ や (エン)	や と ー う	こ ん	か ん
								塗	塀	畜	溺	艶	雇	紺	閑
								塗	塀	畜	溺	艶	雇	紺	閑
								、	ー	、	、	、	ー	く	丨
								⑧ おしろいを塗る  (ぬる)	⑦ 高い塀に囲まれた庭  (へい)	⑥ 畜産業を営む  (ちくさん)	⑤ 我が子を溺愛する  (できあい)	④ 艶のいい顔 <small>物の表面にある滑らかな光沢。若々しく張りど弾力のある美しさ。</small>  (つや)	③ 会社で人を雇う  (やと)	② 紺碧の空 <small>やや黒みがかった濃い青色。</small>  (こんへき)	① ひっそり閑とした昼下がり <small>非常に静かな様。</small>  (かん)

## 故郷1

教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 故郷へ帰る （こきょう）	② 真冬の候 <small>「真冬の候」冬が一番寒い季節となりました。冬のさかりとなりました。</small> （こう）	③ 怪しい空模様 （もよう）	④ 窓の隙間 （すきま）	⑤ 鉛色の空 （なまりいろ）	⑥ 片時も忘れない （かたとき）	⑦ 別れを告げる （つげる）	⑧ 旧暦の正月 （きゅうれき）	⑨ 草木が枯れる （かれる）	⑩ 親戚付き合い （しんせき）	⑪ 八歳の息子 （はっさい）	⑫ 機嫌がいい （きげん）	⑬ 引越しの荷造り （にづくり）	⑭ 脳裏に浮かぶ （のうり）	⑮ その家の坊ちゃん （ぼっちゃん）	⑯ よく吟味する <small>品質、内容、理論、罪状などを念入りに調べ検討すること。</small> （ぎんみ）	⑰ 畑を耕作する （こうさく）	⑱ その件、承知しました （しょうち）	⑲ 縄を棒に結わえる （ゆわえる）	⑳ 相手の急所を突く （つく）	㉑ 危険を避ける （きけん）	㉒ 神秘の宝庫 （ほうこ）	㉓ 台所の隅 （すみ）	㉔ 贈り物 （おくり）	㉕ 戸外へ目をやる （こがい）	㉖ 出かける口実 （こうじつ）	㉗ 甲高い声 （かんだかい）	㉘ 製図用のコンパス （せいずよう）	㉙ 先生が口添えをしてくれた （くちぞえ）	㉚ 豆腐を買う （とうふ）	㉛ 座った姿勢で待つ （しせい）	㉜ 荷物が邪魔だ （じゃま）
-------------------	--	-------------------	-----------------	-------------------	---------------------	-------------------	--------------------	-------------------	--------------------	-------------------	------------------	---------------------	-------------------	-----------------------	---	--------------------	------------------------	----------------------	--------------------	-------------------	------------------	----------------	----------------	--------------------	--------------------	-------------------	-----------------------	--------------------------	------------------	---------------------	-------------------

## 故郷 1

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

								⑧ おしろいをぬる	⑦ 高いへいに囲まれた庭	⑥ ちくさん業を営む	⑤ 我が子をできあいする(溺愛・溺愛)	④ つやのいい顔	③ 会社で人をやとう	② こんぺきの空	① ひっそりかんとした昼下がり
								(塗る)	(塀)	(畜産)	(溺愛・溺愛)	(艶)	(雇う)	(紺碧)	(閑)
②④ よくぎんみする	②③ その家のぼっちゃん	②② のうりに浮かぶ	②① 引っ越しのにづくり	②②① きげんがいい	②①⑨ はっさいの息子	②①⑧ しんせき付き合い	②①⑦ 草木がかれる	②①⑥ きゆうれきの正月	②①⑤ 別れをつげる	②①④ かたときも忘れない	②①③ なまりいろの空	②①② 窓のすきま	②①① 怪しい空もよう	②①①① 真冬のこう	②①①①① ⑨ こきようへ帰る
(吟味)	(坊ちゃん)	(脳裏)	(荷造り)	(機嫌)	(八歳)	(親戚)	(枯れる)	(旧暦)	(告げる)	(片時)	(鉛色)	(隙間)	(模様)	(候)	(故郷)

## 故郷1

教科書に登場する漢字の書き

り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 畑をこうさくする	( 耕作 )	□ 忙中かんあり	忙しい中にも、わずかな暇はあるという意味。
② その件、しようちしました	( 承知 )	□ 二年間のこよう契約	( 雇用 )
③ 縄を棒にゆわえる	( 結わえる )	□ 欲におぼれる	( 溺れる・溺れる )
④ 相手の急所をつく	( 突く )	□ ビルのとそう工事	( 塗装 )
⑤ きけんを避ける	( 危険 )	□ とたんの苦しみ	( 塗炭 )
⑥ 神秘のほうこ	( 宝庫 )	□ さばくのオアシス	( 砂漠 )
⑦ 台所のすみ	( 隅 )	□ もけい自動車	( 模型 )
⑧ おくり物	( 贈り )	□ 中天にかかる満月	( 懸かる )
⑨ こがいへ目をやる	( 戸外 )	□ 虹がかかる	( 架かる )
⑩ 出かけるこうじつ	( 口実 )	□ 壁に絵がかかる	( 掛かる )
⑪ かんたかい声	( 甲高い )	□ 形容詞が名詞にかかる	( 係る )
⑫ せいず用のコンパス	( 製図 )	□ ボールをとる	( 捕る )
⑬ 先生がくちぞえをしてくれた	( 口添え )	□ 筆をとる	( 執る )
⑭ どうふを買う	( 豆腐 )	□ 先制点をとる	( 取る )
⑮ 座ったしせい待つ	( 姿勢 )	□ 大阪まであしを延ばす	( 足 )
⑯ 荷物がじやまだ	( 邪魔 )	□ あしの長いコンパス	( 脚 )